

# まも～れ通信

## 12月

発行日：2023. 12

発行者：

院内感染対策委員会

リスクマネジメント委員会

褥瘡対策委員会

**コロナ類移行後初の年末年始。行動制限はありませんが感染拡大の恐れがあるので、引き続き換気や手指衛生、咳エチケットなど基本的な感染対策を励行しましょう。**

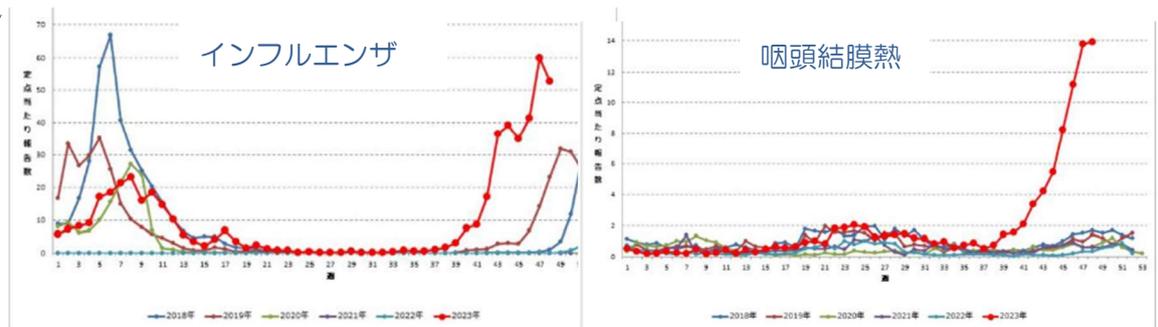
～感染委員会より～

グラフの出典は札幌市 HP

### < 定点把握対象の感染症動向 >

**インフルエンザ、咽頭結膜熱は警報発令中。**A 群溶血レンサ球菌咽頭炎、新型コロナウイルス感染症は横ばい。

札幌市内では発熱患者が増加しており、小児の医療提供体制を確保するために、**ドライブスルー型臨時小児発熱外来**を開設しています。令和5年12月17日～令和6年3月31日の休日年末年始。対象6歳～15歳以下。詳細は札幌市 HP をご覧ください



### < 梅毒 >

梅毒は令和4年に前年比3.7倍となる439件で急増していますがR5年はそれ以上の予想。日本だけでなく、世界的に増加しています。SNSで出会った相手との性交渉が増えているという見解もあるようですが、はっきりとした理由はわかっていません。

### 1 年次推移(札幌市)



### < 帯状疱疹 >

コロナ禍において帯状疱疹が増加傾向。原因としては以下のことが考えられます。

- ① コロナ禍でのストレスや運動不足による免疫の低下
- ② コロナ罹患後の免疫力低下
- ③ 2014年以降小児に対する水痘ワクチン定期接種が始まったことで流行が激減し、大人が水ぼうそうウイルスに接する機会が減り、帯状疱疹に対してブースター効果（体内で一度作られた免疫機能が再度抗原に接することによってさらに免疫機能が高まる）がなくなった。

末梢性顔面神経麻痺の半数を占めるベル麻痺もこのウイルスが原因であることがわかってきています。帯状疱疹後神経痛でペインクリニックに通院する人や、顔面麻痺が残った人も少なくないので、**50歳以上はぜひワクチン接種を!**当院でも接種可能です。

(感染委員 山田)

